

策定検討会意見等反映状況一覧

施策名	所管課	策定検討会参加者意見等	反映内容
1 基礎・基本の定着と学ぶ意欲の向上	教育指導課	ものすごく内容が薄い。この施策を全施策の最初に置いているのであれば、基礎・基本の定着の部分で、もう少し何か書くことがあるのではないか。そもそも学ぶ意欲の向上を考えると、この部分も書かれている内容が非常に薄い。例えば、学ぶことの楽しさとか意義とかそういうことをもっと感じられるような内容があっても良いと。基礎・基本を定着させることについて、主体的に学ぶことや学習習慣という内容があっても良い。そういった意味で内容が薄いと感じる。学校はもっといろいろなことをやっている。	・「基礎・基本の定着の部分で、もう少し何か書くことがあるのではないか」の意見を反映し、「施策の方向」に内容を追加するとともに、あわせて「主な取組」も追加した。 ・「主体的に学ぶことや学習習慣という内容があっても良い」の意見を反映し、「施策の方向」の内容にあわせて「主な取組」を追加した。
2 小中一貫教育の推進	教育指導課	いずみの森義務教育学校の取組の成果を活かすような取組がこの施策に全然出てこない。2校目となる第二小学校と第四中学校の義務教育学校化を進めているのであれば、いずみの森義務教育学校の取組を活かす内容があっても良いと感じる。	・いずみの森義務教育学校以外でも小中一貫教育での取組は多く実施されていることを鑑み、「主な取組」に、「小中一貫教育推進委員会による小中一貫教育グループの取り組みの紹介」を加筆した。
3 自分を大切にし、他者を思いやる心の育成	教育指導課	「現状と課題」の一番下に「多様な体験活動の機会を充実し、一人ひとりが自らの課題を乗り越え、他者と協働してより良く生きる力を育てる」とあるが、私は、地域でのボランティア活動に繋がると思う。一人ひとりが体験的に地域のいろいろな大人達と協働して、自分が社会に貢献できることを何か見つけてやっていくということが、この施策の内容に合致していくのではないかと思うのでその内容があっても良い。	・地域を、地域で、地域とともに学ぶ機会を創出するために、各学校にゲストティーチャーを招いた活動を取り入れたり、地域の清掃活動や催し物に参加できるよう、各学校に促進するために、取組欄に加筆した。
3 自分を大切にし、他者を思いやる心の育成	教育指導課	「保護者や地域と連携」や「家庭と地域」といった「保護者」「家庭」という言葉がよく出てくる。例えば、「3自分を大切にし、他者を思いやる心の育成」では、「SNSの適切な使い方を身に付けることができるよう、学校、家庭、地域の連携を図る」とか「4いじめ防止対策の推進」では、「SNSの活用について学校での指導の充実や保護者への更なる意識啓発が必要」と記載されている。それならば、「主な取組」の中に「保護者に関すること」についても取組として入れてほしい。例えば、「保護者も一緒に学ぶ機会を設ける」といった内容の取組を入れたらどうか。	・保護者が参加する講演等を各学校が設定し、保護者とともに学ぶ機会を各学校が実施していることもあり、引き続き実施を推進するために、「主な取組」に「保護者も共に学ぶ機会の創出」を加筆した。
4 いじめ防止対策の推進	教育指導課	「主な取組」を見ていると上面な内容である。教師と生徒との信頼関係が必要で、いじめを見逃さないという内容の取組を入れたほうが良い。	・「主な取組」の「週1回の「いじめ対応のための時間」の設定」に「児童・生徒一人ひとりと信頼関係を構築し、相談・指導につなげるための」を追記した。
4 いじめ防止対策の推進	教育指導課	「保護者や地域と連携」や「家庭と地域」といった「保護者」「家庭」という言葉がよく出てくる。例えば、「3自分を大切にし、他者を思いやる心の育成」では、「SNSの適切な使い方を身に付けることができるよう、学校、家庭、地域の連携を図る」とか「4いじめ防止対策の推進」では、「SNSの活用について学校での指導の充実や保護者への更なる意識啓発が必要」と記載されている。それならば、「主な取組」の中に「保護者に関すること」についても取組として入れてほしい。例えば、「保護者も一緒に学ぶ機会を設ける」といった内容の取組を入れたらどうか。	・これまでに本市が行ってきたいじめ重大事態調査の調査結果をまとめた、「いじめ対応のポイントや市の取組を整理した保護者啓発資料「いじめ対応のポイントと本市の取組」の周知」を「主な取組」に追加した。
5 感性や創造性を育む活動の充実	教育指導課	「施策の方向」の1番目、探究的な学習の促進をどのように進めていくかについて、「主な取組」を見ていくと、いわゆる調べ学習に終始している。調べ学習は、探究的な学習のスタートではあるが、調べ学習と探究的な学習は似て非なるものとの指摘がある。調べ学習だけに終始してしまうと、八王子市教育委員会が認識している探究的な学習は調べ学習であるという誤解が生じてしまう。おそらく各学校で学習指導要領にある習得・活用・探究のサイクルを意識して実践していると思われるので、習得・活用・探究のサイクルについて意識した取組があった方が良い。	・「主な取組」に「習得・活用・探究のサイクルを意識した総合的な学習の時間の充実」を追加した。
5 感性や創造性を育む活動の充実	教育指導課	「主な取組」の4番目に、「地域運営学校と連携」と1行で書かれているが、1行だけで表せないことがたくさんあると思うので、もう少し具体的な内容を記載した方が良い。	・「主な取組」に「地域ボランティアや学校行事への参加」を追加した。
5 感性や創造性を育む活動の充実	教育指導課	探究的な学習の促進について、「主な取組」に記載している内容だけではないと思う。例えば、いろいろな授業の中で課題解決とか問題解決型の学習プランを立てていると思う。総合的な学習の中で行っているような内容をこの施策で取り上げて記載した方が良く感じる。	・「主な取組」に「総合的な学習の時間の中で、地域に応じた学習の取組」を追加した。
5 感性や創造性を育む活動の充実	教育指導課	ちょっと言葉足らずのところが多いと感じる。例えば「主な取組」の7番目に「近隣大学や高等学校との連携を図り、体験活動を実施」とあるが、イメージが湧かない。あまり細かく書き過ぎて、その内容に縛られてしまうという考えがあって、こういう書き方になったのではと思いますが、もう少し具体的に書いた方が良い。それは、この施策に限らず取組の内容について具体的に記載することを検討してほしい。「施策の方向」の7番目の「社会体験活動や自然体験の活動などの児童・生徒の多様な体験活動を充実させ」のところで、「近隣大学や高等学校と連携」はどのように実施するのか疑問である。	・「主な取組」に「東京工科大学や東京工業高等専門学校と理科教育等で連携」を追加した。
7 体力向上と健康教育の充実に向けた取組の推進	教育指導課	「施策の方向」の4番目の「がんに関する基本的な知識を身に付ける」についてですが、急にがん教育の推進が出てきたような感じがするのと、なぜがん教育なのか不明確である。	・【施策の方向】に、「学校における健康教育において、生涯のうち国民の二人に一人がかかると推測される」を追記した。
7 体力向上と健康教育の充実に向けた取組の推進	教育指導課	「施策の方向」の4番目の「がんに関する基本的な知識を身に付ける」についてですが、「主な取組」で、外部講師を招へいしたがん教育の実施が、なぜ中学校第2学年なのか、その理由も不明確である。	・【主な取組】を「中学校第2学年における外部講師を招へいしたがん教育の実施」から「中学校第2学年における保健体育科や特別活動等において外部講師を招へいしたがん教育の実施」へ変更した。
7 体力向上と健康教育の充実に向けた取組の推進	教育指導課	がん教育について唐突感があると思う。実際に中学校においては、がん教育を実施しているが、ここにごん教育が唐突に出てくることに、もうちょっと記載の仕方があるのではと思う。	・がん対策基本法（平成18年法律第98号）の下、政府が策定したがん対策推進基本計画（平成24年6月）において、「子どもに対しては、健康と命の大切さについて学び、自らの健康を適切に管理し、がんに対する正しい知識とがん患者に対する正しい認識をもつよう教育することを目指し、5年以内に、学校での教育の在り方を含め、健康教育全体の中で「がん」教育をどのようにするべきか検討し、検討結果に基づく教育活動の実施を目標とする」ことを受けて、現行の中学校学習指導要領保健体育科において、がんについて学ぶことが示されているため、【施策の方向】に、「学校における健康教育において、生涯のうち国民の二人に一人がかかると推測される」を追記した。

施策名	所管課	策定検討会参加者意見等	反映内容
8 特別支援教育の充実	教育指導課	「施策の方向」の1 番目の「主な取組」にある「地域のバランスに配慮した特別支援学級の増設」について、「地域のバランスに配慮した」とあるが、どういうバランスに配慮するのかが不明確なので、もう少し内容を詳しく記載した方が良い。	・「現状と課題」に「設置校数や在籍児童・生徒数に応じて」という文言を追加した。
8 特別支援教育の充実	教育指導課	「施策の方向」等に、インクルーシブという言葉が出てこないのはどうなのかなと思う。	・「施策の方向」を、第五次推進計画の文言に合わせ「児童・生徒の特性や障害に応じた適切な指導や学習の機会が得られるよう、教員の指導力の向上と学校における指導・支援体制の更なる充実を図り、インクルーシブな教育体制を推進」という一文を追加した。
9 不登校児童・生徒への支援の充実	教育指導課	「施策の方向」の一番下にある「スクールソーシャルワーカーに対して助言指導を行うスーパーバイザーを配置」の「主な取組」に「スーパービジョンの実施」とあるが、「スーパービジョン」が分からない方も多いと思うので、わかりやすい言葉に変えた方が良い。	・「主な取組」を「教育・心理・福祉・医療・法律の専門家によるスクールソーシャルワーカーの実践力の向上を目的とした助言・指導の実施」と修正した。
9 不登校児童・生徒への支援の充実	教育指導課	子ども・若者育成支援センターとの連携のところに、子ども・若者育成支援センターの愛称（「はちビバ」）も表記した方が良い。	・「主な取組」に(はちビバ)を追加した。
9 不登校児童・生徒への支援の充実	教育指導課	「おいでよ給食」という取組が実施されると思うが、不登校の子どもたちに対する手を差し伸べているところも取組として入れた方が良くと思う。	・「主な取組」に「学校給食センターとの連携」を追加した。
12 保・幼・小連携の推進	教育指導課	保・幼・小連携の推進だが、中学校まで入れることができないか。小学校の学校運営協議会でよく話になるのが、進学する中学校の内容である。中学校の関係者、校長先生であるとか学運協に属している方に、あえて松枝小学校学校運営協議会に入っていただいて、お互いに情報共有し、子どもたちをいかに教育していくか考える場にしている。この施策には、保・幼・小連携だけでなく、中学校まで連携するということを表した方が良いのではないか。	・「保・幼・小連携だけでなく、中学校まで連携するということを表した方が良いのではないか」の意見を反映し、「主な取組」を修正及び追加した。
14 グローバルに活躍できる多様な力を育成する教育の推進	教育指導課	「施策の方向」の3 番目にある情報教育の推進について、ＩＣＴに力を注いでいるように見受けられる。ＩＣＴを意識して記載していると思うが、「主な取組」に、「ＧＩＧＡスクール研究推進校を指定し、教科等における効果的なＩＣＴの活用を研究・発表」とあるが、これから先を考えた時に、我々が避けて通れないのが、いわゆる生成系のＡＩを学校教育の中でどういうふうに位置付けていくかである。国でも指定校を全国に設け、研究をしているところなので、ＧＩＧＡスクール研究推進校の取組の中に、ＡＩの取組が入っているかもしれないが、八王子市教育委員会としてＡＩを学校教育の中でどのように位置付けていくのか計画に示した方が良い。	・「主な取組」を「情報教育推進委員会による小中一貫教育の観点から自動・生徒のＩＣＴや生成ＡＩの活用等に関する研究の実施と発表」と変更した。
15 持続可能な部活動の推進	教育指導課	そもそも生徒の放課後の豊かな活動の場について考えると、学校だけではなく地域や学校同士の連携で部活動を充実させていこうということだと思うが、持続可能な部活動の推進ということよりも、「学校部活動と地域活動の推進」というような、もっと広い視野での改革ではないのか。学校の現状として生徒数も少なくなっており、従来の形での子どもたちの活動が保障できない。これからは、地域の力を借りながら、また、学校がアウトソーシングしながら、保護者や地域、民間企業などいろいろなところと繋がって力を借りながら、子どもたちの放課後の活動を充実させるということであるならば、部活動の推進ということよりも、学校部活動と地域活動を一体化して推進していくといった表現の方が良いのではないかと感じる。	・八王子市における部活動改革は、「学校部活動の再編」と「地域と連携した活動の拡充」を一体的にすすめているものである。今後も、「地域の子どもは地域で育てる」という理念の下、地域団体との連携を図り、子どもたちの活動機会の充実を図る。
15 持続可能な部活動の推進	学務課	「主な取組」の3 番目の「部活動指導補助員（コーチ）の配置の拡大や、部活動指導員の計画的な配置と配置の拡大」のところのだが、「施策25学校における働き方改革の推進」、の「主な取組」の1 番目には「部活動指導員及び部活動指導補助員（コーチ）の配置拡充」とある。中学校サイドとしては、「配置の拡大」ではなく「配置の拡充」にして、部活動指導補助員の数を増やして部活動を充実させてほしい気持ちがある。施策25で「部活動指導補助員（コーチ）の配置の拡充」にするのであれば、この施策でも「部活動指導補助員（コーチ）の配置の拡充」と表現を変更した方が良い。	・施策25の表現に合わせ「配置の拡大」ではなく「配置の拡充」との意見を反映し、上から3 番目の「主な取組」の内容を修正した。 ・「部活動指導補助員（コーチ）の配置の拡充」と変更した。
16 地域運営学校と地域学校協働活動の一体的推進	地域教育推進課	小中一貫教育グループにおける学校運営協議会のあり方について取組に加えてほしい。学校だけで連携するのではなくて、学校運営協議会同士も連携して考えていくような内容があったら良い。	・本意見を反映し、「施策の方向」及び「主な取組」の上から2番目を追加した。
17 学校だけでは解決が困難な問題に対する支援	教育指導課	ＳＮＳのトラブルについての「主な取組」に「保護者への積極的・継続的な啓発活動」追加できないか。	・「主な取組」に、「保護者への積極的・継続的な啓発活動の実施」を明記した。
19 家庭教育支援活動の推進	学習支援課	「施策の方向」の1 つ目にある「主な取組」に「「いえいく」の活用」とあるが、保護者自身の家庭教育が大事であると思っていて、保護者自身としてのあり方とか子どもに対する接し方や育て方の方法論を私は家庭教育と呼んでいるが、保護者自身の家庭教育を必要としている保護者は少なからずいると思うので、子どもだけでなく保護者にもフォーカスした啓発にするべきだと思う。保護者としての家庭教育が必要だと感じている。	・「いえいく」にはご家庭の方（保護者）と地域の方への啓発内容が含まれているため、「子どもだけでなく保護者にもフォーカスした啓発にするべき」という意見を反映し、上から2番目の「現状と課題」の内容を修正した。
19 家庭教育支援活動の推進	学習支援課	家庭教育の教育力を高めるためには、保護者を巻き込んでいくことが大切だと思うが、その中で、「主な取組」は大きく3 つに分かれていて、「いえいく」の活用や茶話会での講座の開催、ファシリテーターの育成とあるが、どちらかというと、自分からやっていこうというのだと思う。「現状と課題」の3 つ目に「家庭での教育力の低下が懸念される」とあるのに、教育力が低下している人が自分で情報を収集し茶話会形式の講座に出ようとは思わないと思う。情報を得ない方をどのようにしていくかが大切だと思う。「現状と課題」に「家庭での教育力の低下が懸念される」と謳うのであれば、なぜ教育力が低下しているのか分析して、それに対する施策を明記するべきだと思うので検討してください。	・「『家庭での教育力の低下が懸念される』と謳うのであれば、なぜ教育力が低下しているのか分析して、それに対する施策を明記するべき」という意見を反映し、上から3番目の「現状と課題」の内容を変更した。
20 放課後の子どもの居場所づくり	放課後児童支援課	「主な取組」の一番下にある、子どもたちが多様な経験や活動ができるようにスポーツプログラムの提供や出張体験講座の提供とあるが、これらを拡充してほしい。プログラムの提供が増えて、市内の放課後子ども教室のプログラムが充実していくことを進めてほしい。	・「主な取組」の「スポーツプログラムの提供」や「出張体験講座の提供」の記述を「スポーツプログラムの拡充」や「出張体験講座の拡充」に修正した。
20 放課後の子どもの居場所づくり	放課後児童支援課	「現状と課題」の一番下、文中に「児童の体験格差が課題として問題視される中」とあるが、ここでは、「体験経験の貴重な場となっている」ことを主に言いたいことだと思うので、文中に、「児童の体験格差が課題として問題視される中」とあると、どっちを言いたいのか文脈としてわかりにくいので、文末に、「児童の体験格差が課題です」とした方が良くと思う。	・主に言いたいことは「貴重な場となっている」ことなので、「体験格差」は削除する。

施策名	所管課	策定検討会参加者意見等	反映内容
20 放課後の子どもの居場所づくり	生涯学習政策課 放課後児童支援課	この施策の「子ども」は小学生を対象としているのか。「現状と課題」の7つ目に「持続可能な部活動」との文言があるので、この施策にある「子ども」の対象はだれなのかわからなかった。	・意見を反映し、「現状と課題」1つ目、施策の方向1つ目、主な取組の1つ目の1行目の内容を修正した。
20 放課後の子どもの居場所づくり	生涯学習政策課	「現状と課題」の7つ目に「地域活動に参加しやすい環境づくり」とあるが、「環境づくり」とは具体的に何を指しているのか。また、その後には「参加の機会を支援します。」とあるが、「支援」とはどういうことを指すのかが分からなかった。	・意見を反映し、「現状と課題」の9つ目に追加した。
20 放課後の子どもの居場所づくり	生涯学習政策課	「主な取組」の1つ目に、「地域活動の体験会の実施」とあるが、「体験会」はどういうことをイメージしているのか分からなかった。	・意見を反映し、主な取組の1つ目の2行目の内容を修正した。
22 学校ICT環境の充実	教育指導課	「現状と課題」に、「デジタルシチズンシップ教育の推進が求められている」とされているが、この課題対して取組等が何も記載されてない。メディアリテラシーや情報モラルなど、これからは、デジタルシチズンシップ教育は非常に重視される部分であることから、その内容が「施策の方向」や「主な取組」にあった方が良い。	・「主な取組」に、「情報教育主任研修において、デジタルシチズンシップ教育に関する内容を実施」を明記した。
26 誰もが学べる環境の整備	学習支援課	「施策の方向」の4つ目にある、「体験活動の機会」について、自然観察会だけでなく、特定の技術やツールを使ってふわっと体験できるようなになると刺激になる。	・「体験活動の機会」については、生涯学習センターで「青少年講座」「家庭教育講座」として小学生や親子を対象にさまざまな体験ができる講座を実施しているため、「主な取組」に追記した。
26 誰もが学べる環境の整備	こども科学館	「施策の方向」の6つ目にある「子どもだけでなく、大人の関心を引くことができるイベントを実施」とあるが、施策名に「誰もが学べる」とあるので、「大人の関心を引く」というよりも、大人も一緒に学べる内容の方が良いと思う。	・「施策の方向」に「大人も興味を持ち共に学ぶことができる」と内容を修正した。
26 誰もが学べる環境の整備	図書館課	「現状と課題」の6つ目に「身近な場所で読書に親しめる環境の整備が必要です」とある。八王子市は市域が広いので、中央図書館や生涯学習センター図書館といった大きい図書館に行けない方も多い。各地域に市民センター図書館があるが、読書する場所や環境がない。	・意見の中から「読書する場所や環境がない。」との意見を反映し、上から7番目の「施策の方向」の内容を修正した。
31 歴史文化の保存・活用	文化財課	「施策の方向」の一番下に、「シビックプライドの醸成」とあるが、今後は、八王子市のブランディングが大切になってくると思っている。これからの八王子市がどのようにになったらうれしいか小・中学生から聞く仕組みができないか。	・令和7年度以降も展示や共創活動を通じてシビックプライドの醸成を図っていく。また、アンケートの実施及びワークショップ等の開催により、小・中学生からの要望を聞く仕組みを設ける。「主な取組」に「アンケートの実施」を追加した。
31 歴史文化の保存・活用	文化財課	施策展開の方向9「市民が誇れる歴史と伝統文化の継承・活用」について、その個別施策である施策3 1・3 2の名称が、「歴史文化」となっている。文化というのは歴史だけなのか。施策展開の方向9では、「歴史」と「伝統文化」と分けているので、施策名として違和感がある。	・意見を反映し、【施策展開の方向】9「市民が誇れる歴史と伝統文化の継承・活用」⇒【施策展開の方向】9「市民が誇れる歴史文化の保存・活用」に修正した。
31 歴史文化の保存・活用	文化財課	「主な取組」の2つ目にある「防犯・防災についての啓発」について、これは、文化財の所有者向けだと理解できるが、表記として唐突感がある。もう少し表現の仕方があるのではないと思う。	・意見を反映し、○防犯・防災についての啓発（市民向け・所有者向け）⇒○文化財を自然災害等から守る防災対策と盗難などによる喪失を防ぐ防犯対策の啓発（市民向け・所有者向け）に修正した。
32 歴史文化・日本遺産の魅力発信	文化財課	施策展開の方向9「市民が誇れる歴史と伝統文化の継承・活用」について、その個別施策である施策3 1・3 2の名称が、「歴史文化」となっている。文化というのは歴史だけなのか。施策展開の方向9では、「歴史」と「伝統文化」と分けているので、施策名として違和感がある。	・意見を反映し、【施策展開の方向】9「市民が誇れる歴史と伝統文化の継承・活用」⇒【施策展開の方向】9「市民が誇れる歴史文化の保存・活用」に修正した。
32 歴史文化・日本遺産の魅力発信	文化財課	八王子駅南口集いの拠点について、そこに何ができるのか市民はあまり知らない。歴史文化の資料も集いの拠点の中にできる歴史・郷土ミュージアムに集約されると思うので、新しい施設を活用してもらいたいと思う。	・八王子駅南口集いの拠点及び歴史・郷土ミュージアムについて、更なる市民周知を図るため、「主な取組」に「情報発信」を追加した。